

令和7年度武雄市ジェンダーギャップ解消ワークショップ事業業務委託 候補者選定要領

適正な参加表明のあった者（以下「参加者」という。）について、選定委員会において企画提案書等及びこれに基づくプレゼンテーションなどの内容を下記の要領で審査し、事業受託候補者を決定する。

(1) 会場 武雄市役所

(2) 審査対象

- ・参加表明書及び添付書類（様式1～3）
- ・企画提案書、業務実施体制図、見積書
- ・企画提案書に基づくプレゼンテーション（20分間）

(3) 審査する内容

事業者の適格性や業務遂行能力及び企画力、訴求力、実施方法等の創意工夫、見積額などを総合的に審査する。

- ① 業務実績及び体制
- ② 企画力、訴求力、実施方法等の創意工夫
- ③ 見積額

(4) 審査の方法

- ① 参加者から提出された企画提案書等及びこれに基づくプレゼンテーションを選定委員が採点表により採点し、全選定委員の点数の平均（小数第2位以下切り捨て）を得点とし、最高得点者を事業受託候補者として選定する。

ただし、得点が100点満点中60点未満の場合は事業受託候補者として選定しないものとする。

- ② 最高得点者が複数ある場合は、採点表（審査基準）の項目「技術力」の得点を最優先とし選定する。「技術力」で選定できない場合は、「実効性」、「効率性」の順で選定するものとする。

(5) 選定結果の通知

令和7年6月3日（火）に市ホームページに公表するとともに、参加者全員に文書による通知を行う。

令和7年度武雄市ジェンダーギャップ解消ワークショップ事業業務委託
 公募型プロポーザル評価基準および審査採点表

採点者氏名 _____

事業者 _____

評価項目	評価の指標	基準	配点	係数	得点
実効性	実績	同種・類似業務の実績が十分であるか。	1・2・3・4・5	2	
	体制	円滑な業務実施のための体制が整っているか。	1・2・3・4・5	2	
技術力	基本方針	現代社会において経営者、事業者に求められる視点を踏まえているか。	1・2・3・4・5	2	
	題材選定	各回を通じて、特定の業種・業態・規模の事業者に特化したものではなく、誰にとってもわかりやすく、当事者意識を持って参加できるような内容としているか。	1・2・3・4・5	3	
	目標到達可能性	全3回のワークショップについて、各回それぞれのテーマと到達目標を設定し、それが達成できるようなメニューとしているか。	1・2・3・4・5	2	
	構成	ワークショップ各回の連続性に留意し、統一感のあるものとなっているか。	1・2・3・4・5	2	
		最終的な目的を達するための段階に応じた内容・プログラム構成となっているか。	1・2・3・4・5	2	
	実施形態等の工夫	参加事業者同士の活発な意見交換を促し、各自の気づき（課題解決）へとつながるような工夫（実施形態・手法、講師選定等）が見られるか。	1・2・3・4・5	3	
効率性	経費	見積額	10点×提出最低見積額／提出見積額 (小数点以下、四捨五入)	1	
得点計（100点満点）					

【評点表】

点数	1	2	3	4	5
評価	非常に劣っている	劣っている	普通	優れている	非常に優れている